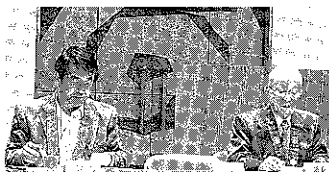
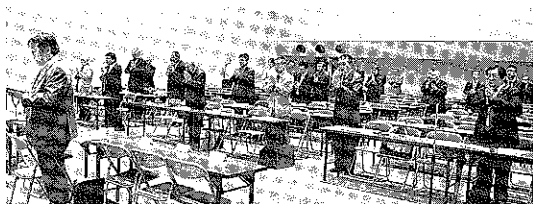


仏教保育

6

JUNE

伝えよう 生命の尊さ ほとけの心



柏女先生



公益社団法人日本仏教保育協会（上村映雄理事長）は5月15日、大本山増上寺三縁ホールにおいて公益社団法人移行後、初めての表記各会を開催。上程議案は何れも満場一致で承認されました。また、隣接のザ・プリンスパークタワー「東京陽明殿」を会場に、公益社団法人設立を記念して祝賀会を併催。祝賀会会場には当協会名誉会長・八木季生台下をはじめ、増上寺・曹洞宗宗務庁・日蓮宗宗務院等の本山を代表する方々、仏教保育振興国会議員懇話会の先生方、更に各宗派保連、全日本仏教会、国際仏教興隆協会等の関係団体並びに日仏保の講師、養成機関の先生方など、蒼々・多彩なゲストに加え100余名の参加を得て盛大に開催されました。

理事会

上村理事長の主唱で三帰依文斉唱のあと、同理事長から「気にかかる制度の方は混沌としていくようですが、私たちは仏教保育の理念を揺るぎない意志で遂行していかなければなりません。公益社団法人への移行についてもご案内の通り、皆さま方のご協力を得て4月1日を以って認可を受けることができました。新たな日仏保のスタートと心得て、皆さまと共に更なる精進をしてみたいと思います」と挨拶がありました。

議案の上程に先立って高山事務局長から公益社団法人移行への経緯、それに伴う定款の主な変更、会の名称並びに会の進行手順等について説明がありました。

議案は、①平成23年度事業報告 ②平成23年度収支決算・監査報告 ③その他、の三議案。それぞれ所管する担当常任理事から上程された議案、①②はすべて全員の挙手によって承認されました。③その他は、栃木

運営審議委員会

での全国大会の呼びかけ、インド菩提樹学園と6大仏跡参拝ツアーの案内がありました。

会に先立って、高山事務局長より公益社団法人移行までの経緯、会の名称並びに定款変更のポイント、会の進行手順等の説明がありました。従来の評議員会は廃止され、新たに運営審議委員会を設けたこと、定足数という概念がなくなったこと、議案の賛否は挙手を原則とするなど等々の詳細が示されました。

また、運営審議委員会の議長は原則として選考委員に諮って選任するが、理事会議長が兼務できることにもなっていること、理事の定数（30名を予定）などについても、現時点では各位のご意見を伺った上で次回に反映したい旨の了承を要請しました。

本会では出席者の総意により、理事会議長が運営審議委員会議長を兼務する形で会を進行することになりました。

議案は、①平成23年度事業報告 ②平成23年度収支決算・監

第1回理事会／第1回運営審議委員会／第1回社員総会／平成24年度第1回仏教保育研修会

「公益社団法人移行、決意新たに理念遂行！」

平成24年5月15日／大本山増上寺・三縁ホール



〇仏保

査報告③その他、の三議案。
それぞれ所管する担当常任理事からの上程議案①②は全員の挙手により承認されました。③については今夏栃木で開催する全国大会への呼びかけ、25年1月に予定のインド菩提樹学園訪問と6大仏跡参拝ツアーの案内がありました。

社員総会

公益社団法人移行後初の社員総会で稍緊張感も感じられましたが、高山事務局長から定款変更の主たる条文の説明並びに社員総会の手続きについて詳細が告げられ定款変更は拍手で承認されました。そして、定款第26条に基づいて上村理事長が議長の任に就き、議案の審議が行われました。

議案は、①平成23年度事業報告 ②平成23年度収支決算・監査報告 ③平成24年度事業計画(案) ④平成24年度収支予算(案) ⑤その他。

いずれも満場の拍手で承認されました。

小憩のあと、柏女霊峰先生による研修会を開催。テーマ「子ども・子育て新システムと保育」最新の動向を踏まえて。注視されているテーマだけに大きくタイムオーバーするほど質疑応答が交わされました(要旨は次号で報告)。

華麗にして荘厳「公益社団法人移行設立記念祝賀会」 ～多彩なゲストから祝福と激励のメッセージ～



国会議員の先生方



祝賀会会場のザ・プリンスパークタワー東京「陽明殿」の正面にはライトに照らされた「公益社団法人 日本仏教保育協会 移行設立記念祝賀会」の文字が燦然と輝き、舞台では、二人の女性演奏家によって二胡(胡弓)と琵琶が静かに奏でられていました。

大本山増上寺、曹洞宗事務庁、日蓮宗宗務院の本山関係の方々、仏教保育振興国会議員懇話会の先生方、全日本仏教会、国際仏教興隆協会、全日本仏教婦人連盟等々を代表する方々、更に各宗派保連の代表、日仏保講師団から養成機関の先生など、多彩なゲスト100余名が見守る中、高山事務局長の開会を告げる言葉とともに日仏保名誉会長・八木季生台下が登壇。公益社団法人設立のお祝いの言葉を述べられてから「仏教保育が人間形成に大きく寄与することを公の機関が認めた証でもある。これからも精進され、子どもたちの健全な育成のために尽くして頂きたい」と、激励の言葉を頂きました。

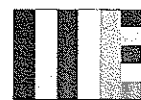
続いて、上村理事長は「公益法人関連三法が国会で可決されて以来、当協会では将来検討委員会を設置し、公益化を志向して協議を重ねてきました。お陰様でこの4月1日を以って内閣府の認定を受け、同日より公益社団法人日本仏教保育協会としてスタートしました。昭和4年に発足以来「仏教保育振興」に尽くしてこられた先人たちも、公益社団法人移行に賛意を示して頂いていると思います。これからも、皆さま方のご支援・ご協力を仰ぎながら仏教保育の推進・拡充に力を入れていく所存です」と決意を披露しました。

また、国会議員懇話会会長・鳩山邦夫衆議院議員からは「公益社団法人の認定を受けられたということは、幼児からの世間のルールなど規範意識を培うためには『仏教保育』が必要不可欠であることを認めたことでもあります。懇話会としても、会を挙げて仏教保育の振興に尽くしていきたいと思えます」と大きな声で述べられ、会場はその声に勝る大拍手で応えました。

ここで理事長から、鶴見大学名誉教授・松樹素道先生より協会へご寄付頂いたことを報告し謝意が述べられました。引き続き同先生の音頭で、威勢よく祝杯が行われ、会は愈々佳境に入っていました。

この後、恒例の「仏教保育功労賞」の授与が八木季生名誉会長から、小林昭彦先生と神谷周道先生に贈られました(別掲)。

舞台には次々とお祝いを述べられる方々にきわい、料理を楽しみながら宴は続きます。日仏保の祝賀会に相応しい華麗にして穏やか、そして荘厳な漂いの中で幕を下ろしました。

ZENBUTSU
金・仏・だより

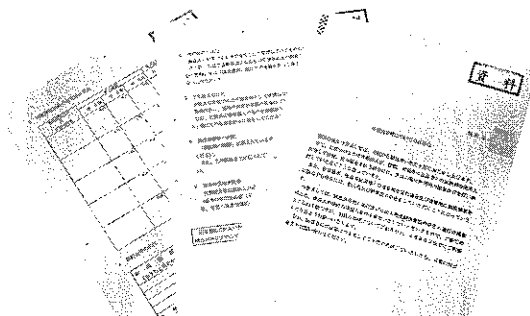
「事業内容等についてのお尋ね」文書について

最近、中国・四国地方のご寺院に対して、税務署から標記の文書が送られてきたとの報告を承りました。文書には「源泉所得税の納付並びに法人税及び消費税の申告の適否の確認のため、貴法人の最近の事業内容等を承知いたしたいと思いますので、ご多忙のところお手数ですが、別紙の事項についてご記入の上、〇月〇日までにご回答下さるようお願いいたします。」と明記されております。

この件の対応につきまして、本会顧問弁護士の長谷川正浩先生にご見解を伺ったところ「回答書の掲載形式には、檀家数や檀家総代の住所氏名、お布施・永代供養料・賽銭の金額等も記載する欄が設けられており、さらには期限を切って回答するよう記載されています。このような文書は法定外文書と呼ばれるもので、税法上の規定に基づいて納税者が提出しなければならない法定文書ではありません。」とのコメントを承りました。

また長谷川先生は「法律の根拠を欠く文書は、提出しなくても、期限を守らなくても、提出しても、不利益を受けたり利益を受けたりするものではありません。しかし今回の文書はそのことが明らかではありません。これでは受け取った宗教法人が不安を生じるのもやむをえません。また、お布施などの宗教活動に深く踏み込んだこの度の『お尋ね』の文書は、宗教法人法八十四条からいって問題があると思います。……この度の事象に対応するお役目こそ、地域仏教会や宗教連盟など宗教団体組織の仕事ではないでしょうか。勿論、弁護士や税理士の専門家にも参加してもらい、意見を述べてもらうことが大切です。宗教家の守秘義務、個人情報保護法や宗教法人法八十四条から問題がないかどうかチェックしてもらいましょう。」ともご助言をいただきました。

本会加盟団体の各ご寺院におかれましては、十分にご留意いただきたく存じます。



公益財団法人
全日本仏教会
WFB(世界仏教徒連盟)日本センター

〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2F
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260
http://www.jbf.ne.jp/
E-mail info@jbf.ne.jp



平成23年度 収支計算書

収入額 206,930,608円
支出額 206,930,608円
残 高 0円

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

収入の部

(単位 円)

大・中・小科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	備 考
基本財産運用収入	95,000	454,562	Δ 359,562	
社団基金利息収入	50,000	223,951	Δ 173,951	元金43,430,000円
菩提樹学園利息収入	40,000	224,725	Δ 184,725	元金32,100,000円
持田基金利息収入	1,000	640	360	元金800,000円
古屋基金利息収入	4,000	5,246	Δ 1,246	元金4,400,000円
入会金収入	20,000	15,000	5,000	3 園
会費収入	25,300,000	25,492,000	Δ 192,000	
事業収入				
出版収入	15,810,000	11,987,263	3,822,737	
こどものくに収入	1,530,000	1,308,458	221,542	51,000×2.50×12
ほとけの子収入	5,280,000	4,461,305	818,695	40,000×11×12
仏教保育カリキュラム	9,000,000	6,217,500	2,782,500	購読料 1,500部
刊行物監修	2,248,659	2,166,659	82,000	
こどものくに編集	280,000	280,000	0	
出席カード印税	368,659	368,659	0	フレーベル仏保版出席カード
保育教材ロイヤリティ	1,600,000	1,518,000	82,000	夏の絵本、合掌人形、上製本等
その他編監修料	0	0	0	
受講料収入				
中央講習会受講料	2,265,345	2,235,345	30,000	
社会貢献・国際交流				
生命尊重募金	4,350,000	3,544,192	805,808	
義 援 金	8,000,000	10,915,412	Δ 2,915,412	東日本大震災義援金
補助金収入				
年度・制度対策助成金	4,000,000	3,370,000	630,000	宗派・本山よりの助成金
寄付金収入	550,000	795,000	Δ 245,000	鈴木出版25 保育教材6社30
雑 収 入	7,005,000	5,072,702	1,932,298	
運用利息収入	5,000	14,562	Δ 9,562	
協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0	協賛金
広告収入	6,000,000	4,058,140	1,941,860	仏カリ他広告収入
特定預金取崩				
仏保精励引当金				
取崩収入	0	2,000,000	Δ 2,000,000	
特別会計繰入金				
生命尊重募金	22,213,155	0	22,213,155	
義援金	273,550	0	273,550	
前期繰越				
前期繰越金	24,076,071	138,882,473	Δ 114,806,402	
合 計	116,206,780	206,930,608	Δ 90,723,828	

支出の部

大・中・小科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	備 考
事業費				
人件費				
臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇
調査研究費				
研究運営費	0	0	0	
教育研究奨励費	188,094	245,634	Δ 57,540	
教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助
古屋・持田賞	0	0	0	全国大会開催年
仏教保育功労賞	38,094	21,294	16,800	賞状、記念品
研究発表指定園	0	0	0	全国大会開催年
仏教保育精励賞	0	74,340	Δ 74,340	全国大会開催年
菩提樹学園充実	800,000	574,712	225,288	
学園視察派遣旅費	600,000	545,000	55,000	旅費補助
同上 資料代	200,000	29,714	170,288	学園おみやげ



〇仏保

大・中・小科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (A-B)	備 考
大会講習会開催費	10,577,777	10,304,515	273,262	
全国大会開催費	7,300,000	7,120,000	180,000	24年度開催支部700、本部30
講習会開催費	2,000,000	1,738,933	261,067	関西地区研修会・夏期講習会・夏期講習会案内印刷
園長・主事研修会	77,777	138,332	△ 60,555	総会時開催研修会講師料
主任・中堅研修会	200,000	207,250	△ 7,250	理事評議員会同時開催講師料・案内状印刷
支部講習会補助	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	支部、ブロックで行う講習会補助
刊行・出版費	28,000,000	27,343,573	656,427	
仏教保育出版費	9,000,000	9,000,500	△ 500	約75万×12
ほとけの子出版費	1,500,000	1,833,211	△ 333,211	原稿、制作費
紀要出版補助費	500,000	500,000	0	24年度全国大会
月刊仏カリ費	17,000,000	16,009,862	990,138	製作、発送費
各種委員会委託	1,880,000	1,040,000	840,000	
仏カリ編集委員会	200,000	60,000	140,000	
こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ
ほとけの子編集委員会	800,000	400,000	400,000	委員会へ
教材開発委員会	600,000	300,000	300,000	委員会へ
助成金支出	3,750,000	3,923,490	△ 173,490	
支部助成金	2,500,000	2,625,450	△ 125,450	支部へ会費10%還元
菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費、国際仏教興隆協会へ
社会貢献・国際交流	0	0	0	中科目に変更
各種団体提携費	250,000	298,040	△ 48,040	宗派保連、保育団体・関西地区連絡協議会
社会貢献・国際交流(生命尊重)	22,500,000	24,093,282	△ 1,593,282	
菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ
義援金	20,000,000	22,597,705	△ 2,597,705	東日本大震災義援金1800万
印刷作成費	1,000,000	0	1,000,000	ポスター・ワッペン・写真ニュース等
募金経費	500,000	495,577	4,423	
各種対策費	2,250,000	614,430	1,635,570	
組織強化費	1,000,000	30,000	970,000	支部強化経費、支部事業助成
制度対策費	1,000,000	398,222	601,778	懇話会、顧問弁護士
養成機関連絡費	250,000	186,208	63,792	開催経費
事業雑費	998,430	1,480,192	△ 481,762	
ホームページ運営費	660,000	671,762	△ 11,762	
事業雑費	338,430	808,430	△ 470,000	イメージキャラクター副賞・賞状
管理費				
会議運営費	3,250,000	4,045,099	△ 795,099	
理事評議員会開催費	2,000,000	2,534,190	△ 534,190	2回開催交通費、1月開催時懇親会
総会運営費	500,000	870,297	△ 370,297	全経費より懇親会費収入を差引
支部長会・参務会開催費	500,000	463,151	36,849	将来検討委員会(公益社団法人)
事務局運営費	250,000	177,461	72,539	
給料手当	4,580,000	4,298,645	281,355	
給料・諸手当	3,400,000	3,217,920	182,080	給与＋通勤交通費 非常勤分を省く
賞与	880,000	880,000	0	4ヶ月
所定福利費	300,000	200,725	99,275	健保、年金掛金補助、労働保険
役務費	3,550,000	4,042,901	△ 492,901	
旅費交通費	400,000	787,910	△ 387,910	交通費
通信運搬費	1,200,000	1,360,480	△ 160,480	郵券、電話等通信費
印刷製本費	200,000	91,400	108,600	封筒等印刷全般
什器備品費	100,000	0	100,000	事務所備品
消耗品費	200,000	157,043	42,957	文具等
借料損料	450,000	552,218	△ 102,218	事務機器リース、コピーランニングコスト
租税公課	1,000,000	1,093,850	△ 93,850	法人税、消費税
事務所費	3,120,000	3,079,197	40,803	
貸借料	2,520,000	2,520,000	0	事務所賃借料 21万/月
光熱水費	600,000	559,197	40,803	光熱水費負担金
諸謝金				
慶弔費	400,000	71,250	328,750	
事務雑費				
管理雑費	500,000	293,215	206,785	
社団基金積増	1,000,000	0	1,000,000	
特定預金支出				
退職給与引当金繰入	600,000	600,977	△ 977	
予備費	4,804,960	0	4,804,960	
当期収支差額				
差額繰越金	23,457,519	120,879,496	△ 97,421,977	
合 計	166,206,780	206,930,608	△ 90,723,828	



06保

平成23年度事業報告(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

基本方針の生命尊重の保育確立と心の教育の推進

1. 生命尊重の保育推進
2. 活力ある日仏保
3. 魅力ある日仏保
4. 国際交流・社会貢献のできる日仏保

1 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展開

(1) 生命尊重の保育推進のための実践、普及活動(募金運動) 昭和58年より始めた「いかにせいのち」の募金運動では、日本赤十字社、ユニセフ等に浄財を寄託。協賛園には感謝状・ポスターを配布。園児にはワッペン、保護者には「日仏保協会の活動について」を配布。

平成23年度においては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、被災地および被災加盟園に対しての募金活動、生命尊重募金からの拠出を行った。

(2) 財政確立のための振興活動

1. 支部及び未組織支部で研修会及び組織強化会議を開催。又、その他のブロックもアプローチを図る。

2. 広告・寄付金の増大を図る。

(3) 各支部生命尊重の集い等の推進

4月 京都支部

「花まつり園児大会」

於、京都府第一ホール 11月 大阪支部

「絵画展」 於、海遊館 12月 東京支部

「釈尊成道を祝う母と子のつどい」 於、読売ホール 12月 神奈川支部

「成道会の集い」 於、ホテル横浜ガーデン 1月 埼玉支部

「第27回佛教幼稚園展」 於、さいたま市文化センター展示室 1月 愛知支部

「第44回仏教保育絵画展」 於、名古屋市民ギャラリー展示室/こども未来館 1月 愛知支部

(4) 生命尊重の保育に関する参考資料の編集刊行 「改訂わかりやすい仏教保育総論」普及促進

(5) 仏教保育振興国会議員懇話会へのアプローチ 日仏保の懇話会運営につき議員代表者と連絡協議

2 調査・研究

(1) 仏教保育研究会 平成24年8月2日、3日に開催予定の第32回全国仏教保育栃木大会について、開催日程・会場・大会基調及び記念講演・分科会などにつき栃木支部と協議し、大会の準備にあたった。

(2) 仏教保育にかかわる調査・研究 1. 「支部講習会等特別助成金」制度に基づき、各地区での講習会への助言と、各

県より要請された講習会等に本部よりの講師の派遣を行った。

2. 本協会編「改訂わかりやすい仏教保育総論」(チャイルド本社刊)は、全国の支部・養成機関でテキストとして活用されている。

3. 日仏保・養成機関連絡協議会を2月に開催し、幼児一元化や保育者の資質向上等の状況を踏まえ「仏教保育」求められる保育者像と養成の現状」をテーマに研究協議を行った。

(3) 仏教保育研究所 仏教保育史の資料の蒐集、整理を続行。

(4) 仏教教育研究会 仏教保育の理念と実践の研究を行う。仏教保育者・学生等が対象。

3 現職教育

(1) 中央講習会 ア 第79回仏教保育夏期講習会 7月22日・23日の両日、東京増上寺三縁ホールにおいて、東京仏教保育協会の運営実施により、全国から約2,000名の参加を得て開催。炎天寺住職吉野秀彦先生「子どもの言葉」その「から」の他、実技を交えての2日間の講習会を終えた。

機関紙23年8月号第568号に掲載

イ 第56回仏教保育関西地区研修会(日仏保近畿地区研

修会

6月11日、ピアサ淡海滋賀県立県民交流センターピアサホールに於いて、近畿地区幼稚園・保育園の保育者多数の参加を得て開催。

機関紙24年1月号第573号に掲載

(2) 支部講習会・ゼミナール等の開催促進

1. 支部講習会等特別助成金交付制度を適用し、以下の支部に配布。

1. 栃木 2. 東京 3. 福井 4. 北海道 5. 兵庫 6. 香川 7. 宮城

支部講習会等実施報告 3月25日 東京支部

「第46回教諭・保育士研修会」 於、東京クラッドホテル 約75名参加

4月16日 長野支部

「総会記念講演」 於、善光寺講堂 95名参加

5月7日 愛知支部

「新任教諭・保育者研修会」 於、東別院本堂下広間 69名参加

5月7日 香川支部

「仏教保育研修会」 於、サン・イレブン高松 82名参加

5月21日 三重支部

「講演会」 於、高田本山宗務院会議室

6月11日 長野支部

「新任者研修会」 於、若穂幼稚園 20名参加

6月1日 埼玉支部

「春季研修会」 於、塔佛会館 20名参加

6・7・9・10・11月 東京支部

「東仏保ゼミナール」5回開催 於、飯田橋セントラルプラザ他 各52名参加

6月11日 東京支部

「東仏保研究ゼミナール(施設見学)」 於、川合保育園、金の峯幼稚園 12名参加

6月11日 栃木支部

「教員・保育士研修会」 於、恵光幼稚園(宇都宮)

6月11日 栃木支部

「総会研修会」 於、恵光幼稚園(宇都宮)

6月18日 長野支部

「講演会」 於、善光寺講堂 100名参加

6月28日・29日 愛知支部

「園長視察研修」 於、熊本県内保育施設等 6名参加

7月27日・29日 埼玉支部

「夏季宿泊研修会」 於、ホテル八田 25名参加

8月20日・21日 北海道支部

「北海道仏教保育研修帯広大会」 於、浄土真宗本願寺派帯広別院 170名参加

8月29日 大阪支部

「夏期研修会」 於、津村別院 55名参加

9月10日・11日 京都支部

「泊研修会」 於、永観堂 45名参加

9月18日 三重支部

「第44回仏教保育高田本山合同参拝」 於、高田本山 866名参加

10月21日 愛知支部

「絵画展事前研修会」 於、悟心寺幼稚園 12名参加

10月13日・14日 栃木支部

「園長・設置者研修会」 於、鬼怒川温泉あさやホテル 11月29日 愛知支部

「園長研修会」 於、建中寺幼稚園 9名参加

11月12日 長野支部

「新任者研修会」 於、吉田保育園 25名参加

11月22日 群馬支部

「研修会」 於、わかぐりこども園 12名参加

12月7日 京都支部

「成道会研修会」 於、東福寺 91名参加

12月7日 兵庫支部

「研修会」 於、神戸ラッセルホール 50名参加

1月13日 愛知支部

「絵画展講評会」 於、お東幼稚園 41名参加

1月14日 長野支部

「園内研修のまとめ」 於、善光寺講堂 95名参加

2月8日 京都支部

「涅槃会研修会」 於、東本願寺視覚ホール 82名参加

2月22日 香川支部

「仏教保育講座」 於、サンイレブン高松 45名参加

3月3日 京都支部

「定例研修会」 於、ラ・キヤリエールクッキングスクール 31名参加

3月28日 大阪支部

「研修会」 於、津村別院 86名参加

(3) 第42回 園長研修会 5月18日 於、増上寺・三縁ホール

講師 保育システム研究所代表 吉田正幸先生

テーマ「新システムの動向とこども園構想の行方」 75名参加

機関紙23年9月号第569号に掲載

4 指導者養成

(1)・(2)

第41回 園長・副園長・主事

研修会、第40回 主任・中堅
研修会

平成24年1月17日 於、増上
寺・三縁ホール

講師 学習院大学理学部化学
科教授 村松康行先生

テーマ「放射性物質の環境と
食品への影響を正しく
理解するために」

95名参加
機関紙24年4月号第576号
に掲載

(3)養成機関連絡協議会
平成24年2月23日 於、芝
パークホテル 参加養成校6
校・7名

機関紙24年4月号第576号
に掲載

5 編集・刊行

(1)機関紙「仏教保育」

月刊、園長・教職員対象
平成23年4月1日発行第5
64号より平成24年3月1日
発行第575号まで、時宜に
適した日仏保に関連した事象
を取り上げ紙面の充実を図つ
た。

編集委員会は月1回。於、日
仏保事務所

(2)「仏教保育カリキュラム」
月刊、教職員対象
編集会議 月1回 於、日仏
保事務所

校正委員会 月1回 於、F
コーポレーション

(3)「ほとけの子」月刊・保
護者対象
仏さまのみ教えを通して、
親子共々「心の豊かさ」のあ
る人としての成長を願い編集
し、紙面の充実を図る。

編集会議 年6月 於、日仏
保事務所

(4)仏教保育教材の編集・監
修

1. 「こどものくに」ひまわり
版 月刊 年長児対象
編集会議 年6回開催 於、
すずき出版

☆「わたしの記録」卒園児に
対して配布

2. 「こどものくに」チュウリッ
プ版 月刊 年中児対象
企画会議 年7回 編集会議
年4回開催 於、すずき出版

3. 「こどものくに」たんぽぽ
版 月刊 年少児対象
編集会議 年3回開催
於、すずき出版

4. 出席カード
編集会議 年1回開催
於、フレール館

5. なののえほん
編集会議 年2回開催
於、すずき出版

6. こもだちいっぴいうれし
な 新入園児対象
すずき出版

7. その他必要な教材
写真ニュース(未刊行)

(5)「いかせいのち」日仏保
写真ニュース(未刊行)

6 関係団体との連絡
提携

(1) 仏教各団体・他宗教団体
との連絡

1. 全日本仏教会、国際仏教
興隆協会各団体への役員派遣

2. 日本宗教保育事業協議会
(仏教、神道、キリスト教)
の振興

(2) 各私立、各宗教保育団体
との連絡

1. 各私立全国研修会及び会
議へ理事長、副理事長、本部
の中心メンバーが参加連絡

2. 各宗教連の研修会、全国
講習会にも同様に出席、連絡
を図る

(3) 本部・支部の連絡強化及
び地方組織(未組織支部)
の育成指導

1. 支部講習会等特別助成金
交付の実施

2. 支部の会議及び事業に本
部より訪問し連絡を強化

(4) 保育関係企業との連絡

1. 各企業継続事業の推進及
び新規事業も模索(すずき出
版、宣協社、フレール館、
チャイルド社、学習研究社、
世界文化社、若越、エフコー
ポレーション)

2. 新年懇親会にて懇談

(5) オメツプ(OMEP)
研究部を中心にオメツプに
協力

7 保育制度対策の活動
強化

(1) 幼保加盟施設の運営・経
営の調査

幼保加盟施設の各地域の現
状分析

(2) 保育制度研究会(全国制
度対策委員会)

(3) 仏教保育振興国会議員懇
話会との連絡強化

平成24年1月17日、ザ・プリ
ンスパークタワー東京にて新
年懇親会を開催
機関紙24年2月号第574号
に掲載

8 国際交流、社会貢献
の実践

(1) 国際交流等と社会貢献
(災害救援を含む)を積極的
に推進

(2) インド菩提樹学園の育成
協力

ア 菩提樹学園訪問・光明施
療院とアジアンタ・エロー
ラ・ムンバイを訪ねる旅参
拜団派遣。12月5日〜12日。
総勢8名。

機関紙24年2月号第574号
に掲載

菩提樹学園運営委員会の開催
於、日仏保事務所

機関紙23年12月号第572号
に掲載

イ 運営基金の管理運用
ウ 運営及び育成指導への協
力

(3) 義援金支援
東日本大震災被災地及び被災園

東日本大震災被災地及び被災園
被災園年会費免除措置

(8) 公益法人移行手続き
平成24年4月1日の公益法
人移行に向け、将来検討委員
会を開催し、定款変更等につ
いての検討を行った。それら
をふまえ、内閣府に平成23年
12月8日に電子申請を行い、
平成24年3月26日に認定を受
けた。

9 奨励事業

(1) 日本仏教保育協会賞
本年度養成機関卒業生
平成23年度 29名(養成校32
校中26校より申請)

(2) 仏教保育功労賞
仏教保育実践に功労のあつ
た個人で適任者がいる年度に
総会席上にて授与

第17回受賞者2名 第43回総
会席上にて表彰

花田郁実先生(福岡、浄土
宗、明願寺幼稚園)

笠 信曉先生(福岡、浄土
真宗本願寺派、筑紫女学園
大学短期大学部付属幼稚園)

10 その他必要な事業

(1) 会員加入促進運動
ブロック別に重点地域を決め、
促進する

(2) 奉祝花まつり・暑中見舞
広告・成道会等の協賛広告
協賛広告を例年通り継続

(3) 各種出版物・教材販売の
促進

(4) ホームページの充実

(5) ポップアップ絵本「おし
やかさま」(すずき出版)刊行

(6) 「仏教行事紙芝居」・
「のさまたねえ」・「仏教保
育のためのハンドブック」・
「仏教行事パネルシアター」
(すずき出版)、「改訂わか
りやすい仏教保育総論」(チャ
イルド本社)、「仏教保育な
るほど12か月」(ひかりのく
に)普及促進

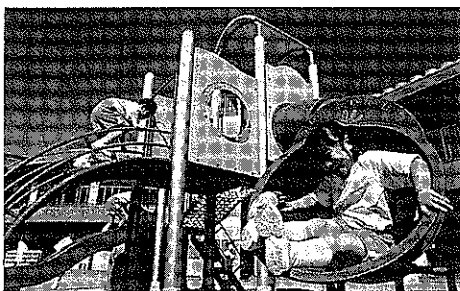
(7) 東日本大震災義援金の勸
募及び被災地訪問と義援金
渡し等(5月10日、7月26・
27日、11月25日、12月17日)、
被災園年会費免除措置

(8) 公益法人移行手続き
平成24年4月1日の公益法
人移行に向け、将来検討委員
会を開催し、定款変更等につ
いての検討を行った。それら
をふまえ、内閣府に平成23年
12月8日に電子申請を行い、
平成24年3月26日に認定を受
けた。

(9) 将来検討委員会において
公益法人化について検討(定
款変更、諸規定整備等)

第4回、第5回、第6回 於、
増上寺会館

以上



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

◇ 会議

(1) 5月12日 平成23年度業
務・経理監査会 於、日仏保
事務所

(2) 5月18日 第107回理
事会・第101回評議員会・
第42回通常総会開催
於、増上寺・三縁ホール

機関紙23年6月号第566号
に掲載

(3) 1月17日 第108回理
事会・第102回評議員会開
催 於、増上寺・三縁ホール

機関紙24年2月号第574号
に掲載

(4) 常任理事会・事務局会議
年14回開催 於、日仏保事
務所

(5) 将来検討委員会において
公益法人化について検討(定
款変更、諸規定整備等)

第4回、第5回、第6回 於、
増上寺会館

以上

事務局日誌

5/8 「仏カリ」 「仏教保育」 編集会議
事務局会議
5/9 「ほとけの子」 編集会議
「理事会」 「運営審議委員会」 「社員総会」
公益社団法人移行設立記念祝賀会
5/15 (ザ・プリンスパークタワー・東京)

大阪市民生員・児童委員連盟副会長、大阪・此花区保護司として長年活動。寺院関係（浄土宗）では大阪市仏教社会福祉委員長、同会全国青少年教化協議会委員並びに此花区仏教会会長として青少年育成に尽くす。

日本仏教保育協会参務として、仏教保育の充実・発展に貢献し、その功は多大。



先生（港北学園保育所・大阪）
昭和35（1960）年、京都佛教大学文学部卒業後、宗教法人専修寺住職となり、専修学園（現・港北学園保育所）の運営に携わる。昭和43（1968）年に財団法人多善会港北学園保育所園長に就任し、その運営に尽くす。



中央大学国文科卒業後、大正大学大学院に進み天台学を学ぶ。昭和40（1965）年4月より言問幼稚園に勤務。主事を経て、昭和57（1982）年に園長就任。平成23（2011）年3月を以って後進に託し、園長を退任する。

「仏教保育功労賞」 受賞の榮譽に！

「仏教保育功労賞」は、記念祝賀会の席上において、日仏保名譽会長・八木季生台下よりお二人の先生に贈られました。

小林昭彦先生（言問幼稚園・東京）

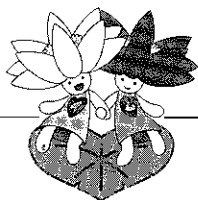
中央大学国文科卒業後、大正大学大学院に進み天台学を学ぶ。昭和40（1965）年4月より言問幼稚園に勤務。主事を経て、昭和57（1982）年に園長就任。平成23（2011）年3月を以って後進に託し、園長を退任する。

■茨城県 栃木県に跨つて起こった竜巻では、甚大な被害の様子が伝えられました。被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。このところ天候が安定せず、天候の急変により、落ち着かない日々が続いております。■さて先日、東北歴史博物館学芸員である政次浩先生のお話を拝聴する機会がありました。その中で、先生は繰り返し「この時期に東北についてのお話をする機会を与えて下さったことに感謝します」と述べておられました。自らも被災し、且つ、1年以上経った現在でも文化財の復興にまでなかなか力が及ばない現状がありながら、感謝の気持ちを持つということ、日々情報が溢れている中で、東北に関する話題も少なくなり、段々と忘れられてしまいがちになりそうです。ともすれば、取り残された感覚を持ってしまいそうになる、という切実な思いがあるのだと、深く考えさせられました。■同様の事は、阪神大震災から1年ほど経って、被災された方にお話を伺った時にも聞かれました。しかし、ようやく文化財の保存や修復にまで人々の関心が向けられるようになってきたことを感謝する、その気持ちこそが仏教保育の目指すものではないでしょうか。

(小林)

編集後記

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 上村映雄 編集人 高山久照
毎月1回1日発行(1部315円)



仙教保育綱領

慈心不殺	生命尊重の保育を行なおう
仏道成就	正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進	よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

¥ 21,000 (税抜 ¥ 20,000)

サイズ:W31×D5×H43cm

重量約2kg

化粧箱(W33×D5.5×H45.5cm)入り

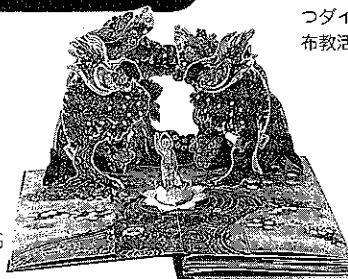
10ページ(見開き5画面)

(社)日本仏教保育協会／監修

諸橋精光／作

さくらいひろし / PAPER ENGINEERING

脚本ガイド付き



★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった
大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつ
ダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。
布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

誰でも一度は読んでおきたい…

名作児童文学紙芝居

走れ又回す

泣いた赤おに

手ぶくろを買いに

(価格は税込)

20場面 ¥3,675

16場面 ¥2,940

10月10日 2,940

Figure 1

〒113 0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三―三九四五一六六一二
ファクス 〇三―三九四五一六六一六
●<http://www.suzuki-syuppan.co.jp/>